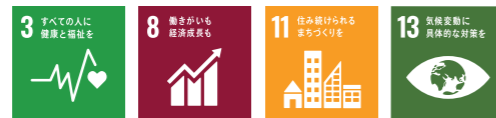


ぎふト・アワー

# G i F T H O U R

岐阜の暮らしを  
アップグレード！

## SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



みちみちすいすいプロジェクトは持続可能な開発目標 (SDGs) を支援しています。  
 渋滞緩和によるCO<sub>2</sub>排出量の削減や多様な働き方の実現、今より住みやすい街の進化など、持続可能な開発目標への一歩となります。

### 岐阜県道路交通渋滞対策推進協議会

#### 構成員

国土交通省中部地方整備局、国土交通省中部運輸局、岐阜県、岐阜県警察本部、多治見警察署、高山警察署、飛騨警察署、下呂警察署、岐阜市、大垣市、美濃加茂市、各務原市、可児市、多治見市、土岐市、瑞浪市、高山市、飛騨市、下呂市、中日本高速道路(株)名古屋支社、岐阜県トラック協会、岐阜県バス協会、岐阜県タクシー協会、東海西濃運輸(株)、東濃鉄道(株)、東鉄タクシー(株)、高山商工会議所、濃飛乗合自動車(株)、飛騨運輸(株)

■お問い合わせ／国土交通省中部地方整備局 岐阜国道事務所 計画課(事務局)

〒500-8262 岐阜市茜部本郷1-36-1 TEL:058-271-9815 E-mail:cbr-gifu-keikaku3@mlit.go.jp

みちみちすいすい  
プロジェクトHP



あなたと  
わたしの朝を  
大切に。



ラッシュアワーを  
じぶんへのギフトアワーに。

クルマの渋滞や混雑で、ついイライラしがちな朝の出勤時間。  
でも、考えてみれば、それも大切なじぶん時間です。

それなら、いつもより出勤時間を少しずらして  
出かけてみてはいかがでしょうか。

ラッシュアワーから解放された分  
朝の時間をより有効に利用できます。

道路が混んでいなければ  
さらに運転にもゆとりが生まれ、安全走行につながります。

いま、国土交通省をはじめ  
岐阜県、県内自治体、企業がひとつになって  
時差出勤や在宅勤務を推進する  
TDM(交通需要マネジメント)の取り組みをスタートしました。

そして、より多くの方に親しんでいただけるよう  
その名称を「みちみちすいすいプロジェクト」としました。

みんなで始める、やさしい朝の時間は岐阜の暮らしをより快適にします。

さあ、あなたも一緒に。

「みちみちすいすいプロジェクト」とは

岐阜県内では、朝夕の通勤時間帯に慢性的な渋滞が発生しています。みちみちすいすいプロジェクトは、車を利用する人の交通行動の変更を促し、県全体で交通混雑の緩和を図ろうとする「交通需要マネジメント(Transportation Demand Management:TDM)」の取り組みです。2023年11月から岐阜県TDMプロジェクトとして始まり、一般公募で名称が選ばれました。プロジェクト名には、県内の道がすいすい通行できるようにとの想いが込められています。

岐阜県における

通勤の現状

# いくつもの要因が重なって起こる

## 岐阜県の交通渋滞。

通勤の自動車利用率

約 **71%**

出典：令和2年国勢調査

岐阜市内の国道21号  
車両通行台数

約 **6.3万台**

出典：令和3年度全国道路・街路交通情勢調査

平均走行速度  
(7:30~8:30)

**20** km/h以下

出典：ETC2.0プローブデータ(令和4年10月 平日)

岐阜県の交通渋滞には、いくつもの要因があります。自動車利用率の高さ、県内各所から限られた道路に集中する車、多くの企業で共通する始業時間。さまざまな要因が重なって、慢性的な渋滞が発生しています。しかし、一人ひとりのワークスタイルや企業の体制を見直していただくことで交通渋滞の緩和につながります。

令和6年1月24日の  
12時間降雪量(関ヶ原町)

降雪量58cm  
でその日の  
全国 **1** 位

出典：気象庁HP

8:30始業の企業

約 **57%**

出典：TDM賛同登録企業アンケート(令和6年1月)

在宅勤務と時差出勤が  
どちらも未整備

約 **54%**

出典：岐阜市内立休区間沿線市町の商工会会員対象  
アンケート・ヒアリング(令和4年)

岐阜県の自動車利用率は全国的にも高く、県人口の約7割が通勤で自動車を利用しています。世帯当たりの自動車保有台数は1.53台で全国8位となっています。

国道21号は県内各所から車が集中し、岐阜市内では1日平均約6万3千台が通行します。1万5千台以上が通行する南北主要道路との交差点も多く、車の通行量の多さが混雑の要因の一つとなっています。

県内で深刻な渋滞が発生する場所は168箇所。国道21号では、岐阜市内のほとんどの区間で朝7時台の走行速度が20km/h以下となり、5つの交差点が県内の事故多発箇所のワースト10に入ります。

令和6年1月24日、関ヶ原町でその日の全国1位となる降雪量を記録。県内各地で284件のスリップ事故が発生しました。日頃から渋滞対策に取り組むことは積雪時の交通障害を減らすことにも効果的です。

岐阜県の自動車利用率の高さとともに、出勤時間が8時30分に集中していることも慢性的な渋滞の原因となっています。始業時刻を見直すことは渋滞緩和の有効な手段といえます。

県内の半数以上の企業が、時差出勤や在宅勤務の制度が未整備となっています。時代や社会動向に合わせてフレキシブルな働き方を採り入れることはビジネスの効率化にもつながります。



## あなたに始めてほしい、4つのこと。

渋滞は仕方ないこととあきらめず、みんなで少しずつチャレンジすれば、岐阜の朝はもっと快適に変わります。

01 ↓ 時差出勤



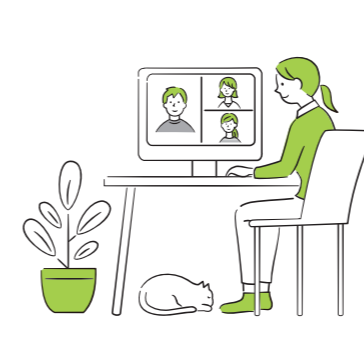
ラッシュアワーをずらして家を出ることで、渋滞に巻き込まれることなくスムーズに出勤できます。いつもより通勤時間が短縮でき、その分余裕も生まれます。

02 ↓ ルート変更



ふだんの通勤ルートを変えて、新しい順路を試してみましょう。多少遠回りでも、車が少なく走りやすい道路が見つかるかもしれません。 ※生活道路の抜け道利用はお控えください。

03 ↓ リモートワーク



コロナ禍の影響でリモートワークや在宅勤務が浸透しつつあります。フレキシブルな働き方で出社の日数を減らすことは、渋滞の緩和にも役立ちます。

04 ↓ 交通手段の変更



通勤を公共交通にかえたり、徒歩や自転車での移動もおすすめです。渋滞のストレスから解放されるだけでなく、身体を動かすことで健康の促進にもつながります。

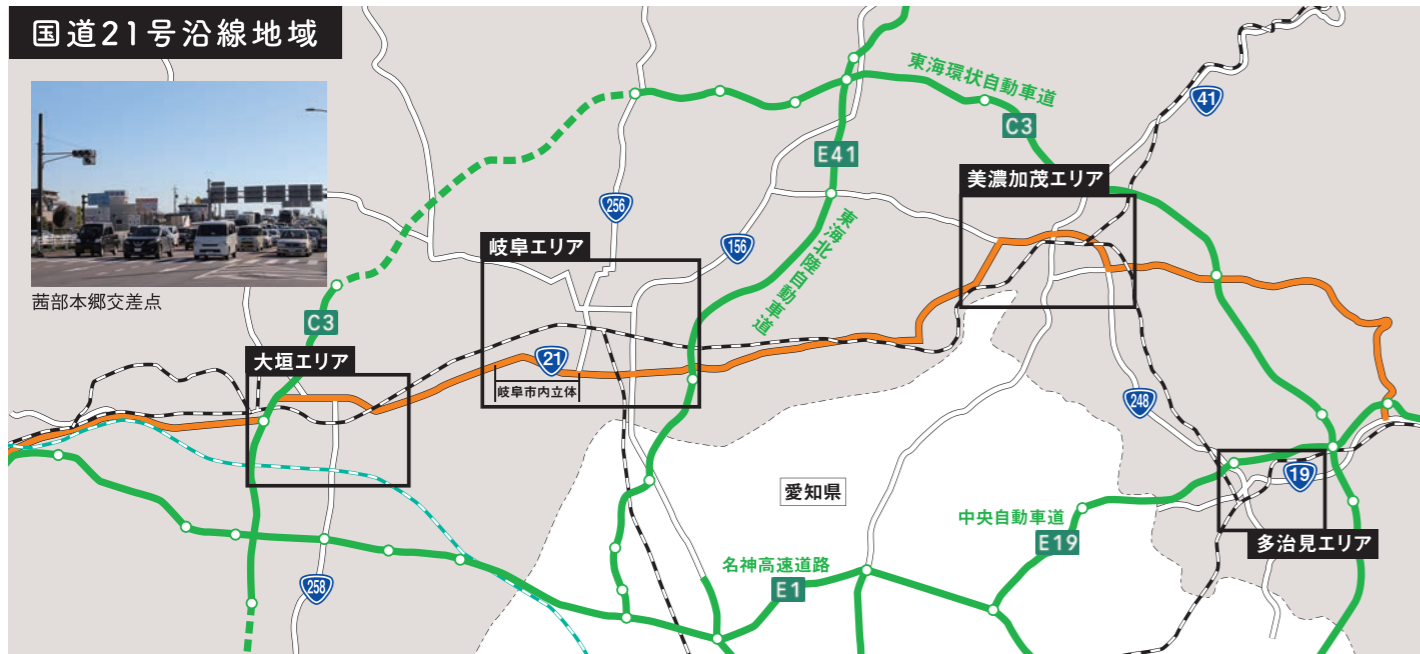
ピーク時間帯の

走行速度

朝は県内のあちこちで渋滞が発生。

国道21号は、車であふれています。

岐阜県は広大な面積に対して、人が住める面積の割合は約20%。その限られた可住域の中でも、人口の上位3位となる岐阜市・大垣市・各務原市が東西方向に並びます。さらに、工場や企業が多い産業集積地も重なるように分布するため、東西の交通量がおびただしく集中します。とくに国道21号では、朝7時30分～8時30分に通勤ラッシュがピークに達し、大渋滞となります。



出典:ETC2.0プローブデータ(令和4年10月 平日7時台)



出典:ETC2.0プローブデータ(令和3年10月 平日8時台)



出典:ETC2.0プローブデータ(令和4年10月 平日7時台)



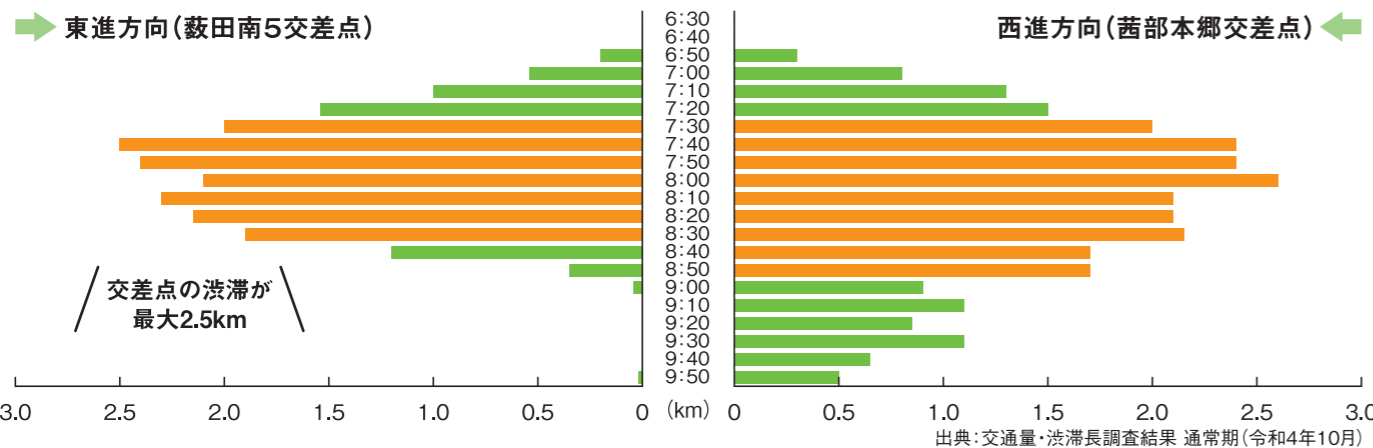
出典:ETC2.0プローブデータ(令和5年10月 平日7時台)

【凡例】 ■ ~20km/h ■ 20~30km/h ■ 30km/h~

## 朝は県内から国道21号に車が集中します。

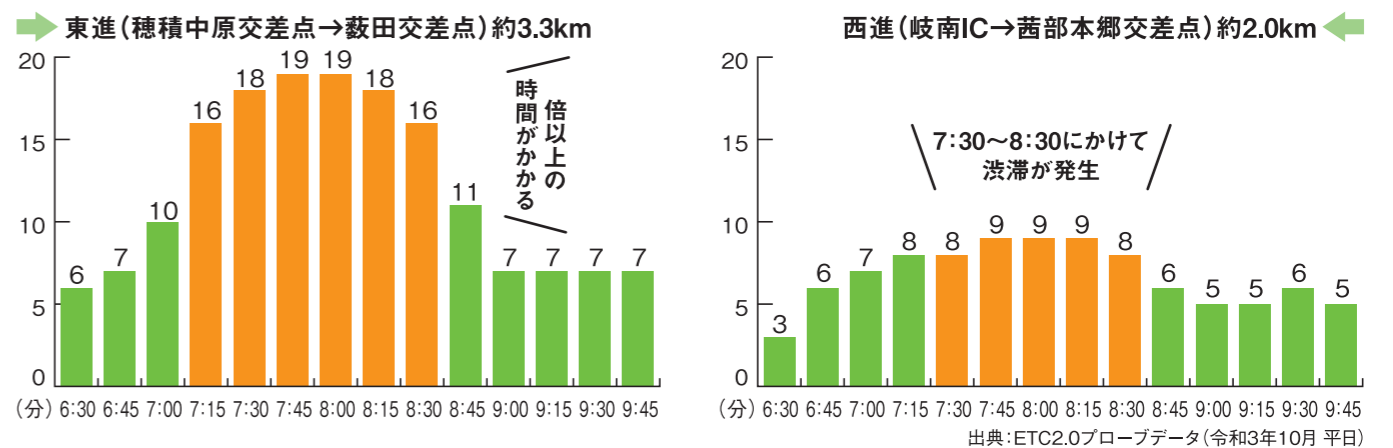
県内の各所から東西方向の国道21号に車が流入し、朝は飽和状態です。岐阜城をはじめ、多くの観光地へのアクセスを妨げています。また県内唯一の中央卸売市場や岐阜貨物ターミナルもあって、物流にも大きな影響があります。

### 国道21号の渋滞長



出典:交通量・渋滞長調査結果 通常期(令和4年10月)

### 国道21号の通過時間



出典:ETC2.0プローブデータ(令和3年10月 平日)

【鼎談】TDMへ期待すること



松實崇博 × 柴橋正直 × 村瀬幸雄

岐阜国道事務所 所長

岐阜市長

岐阜商工会議所 会頭

企業の協力が経済向上、労働環境の改善につながる

松實所長 岐阜市内の国道21号では、慢性的な渋滞の緩和に向け、立体化事業を進めています。工事期間中は6車線ある現道を数車線ふさいでしまうため、交通渋滞のさらなる悪化が懸念されています。そこで国交省や県内自治体、企業が一丸となり、2023年11月から時差出勤や在宅勤務を進めて通勤時間帯の渋滞を解消する「岐阜県TDMプロジェクト」を始めています。現状で約60社（令和6年1月時点）の企業に協力いただいています。

柴橋市長 国道21号岐阜市内立体化は岐阜市民の長年の悲願です。工事に着手し、進めていただいていることに感謝しています。特に国道21号は、西は大垣市から東は各務原市などの一定の人口や、製造業の拠点がある地域を岐阜市を中心に東西に結ぶ重要物流道路です。この道路が立体化することで渋滞の緩和、事故を減らすことに大きく寄与します。また、そうしたこ

とからも柳津地区では企業立地が進もうとしていて、多くの企業が関心を持って手を挙げてくれています。重要物流道路がしっかりと整備されることで、市内の企業立地にも大きな力を発揮していただけると期待しています。

村瀬会頭 今までの渋滞の解決方法としては、新しい道路やバイパスをつくっていただくというものでしたが、時差出勤といったある意味渋滞緩和のソフトとしてのTDMプロジェクトは大変良い取り組みだと考えています。

松實所長 街中におけるこのような事業は、特に周囲のご理解なくして進めるのは難しいものです。地元の自治会や商工会議所の方々やタグを組んで取り組んでいきたいと考えています。目標として「岐阜県TDMプロジェクト」の協力企業を今後100社まで伸ばせるように呼びかけております。ぜひご理解いただきますようお願いいたします。

柴橋市長 国道21号市内立体が完成すれば渋滞や事故は緩和しますが、完成までには一定の時間がかかります。岐阜市としても1月からTDMに参加させていただき、時差出勤のできる職員には取り組んでもらっています。岐阜市が取り組むことで市内の企業のみなさんに参考させていただき、一緒に取り組んでいただけないでしょうか。完成に向け、みんなで協力して少しでも渋滞を緩和できるように呼び掛けていきたいと思っています。

村瀬会頭 商工会議所でも議員懇話会や会報等で呼びかけています。渋滞は経済的なロスもありますが、2024年問題において働き方改革の中でも、渋滞に巻き込まれて勤務時間が長くなるなどの問題があります。2024年問題の解決の一助としてもTDMは有意義だと感じています。できる限り協力してまいります。

令和6年1月26日

TDM賛同企業による取り組み事例①

株式会社十六フィナンシャルグループ



情報管理を徹底しつつ柔軟な勤務形態を実現

当社では、仕事と生活の両立と効率的な働き方の実現を目的に時差出勤と在宅勤務を導入しています。時差出勤については、効率的な業務運営や家庭の事情などを踏まえ、上司と相談のうえ利用することが可能です。コロナ禍では、全社的に時差出勤制度を活用して出勤の時間帯をスライドさせる取り組みを行いました。在宅勤務については、職種を問わず全社員を対象としており、期間や日数の制限は設けず、時差出勤との併用も可能です。導入にあたっては、情報管理の観点からとくに在宅勤務で課題がありましたが、プロジェクトチームを立ち上げて対応しました。「岐阜県TDMプロジェクト」を機に働き方改革を推進することで、道路の渋滞が緩和され、同時にSDGsの実現にもつながり、岐阜県のみなさんの暮らしをより良くすることにつながると感じています。

PROFILE

事業内容/金融機関  
所在地/岐阜県岐阜市  
従業員数/2,386名(男性1,469名・女性917名)  
※令和6年3月現在

地域総合金融サービスグループとして、ベンチャー企業を支援・育成する投資会社や、地域活性化を担うまちづくり会社、地域企業の経営承継を支援するM&Aアドバイザー会社など新たなビジネスへ挑戦している。職場環境の改善にも力を入れ、女性目線から東海三県の地方銀行で初の企業内保育施設の設置や、子育て・介護に活用できる半日単位の年次有給休暇制度を導入。ほかにも、毎週水・金曜日の早帰り日、月1回定時退社週間を設けている。

改革の成功ポイント

01

対象部署を徐々に拡大

在宅勤務の導入は、プロジェクトチームを立ち上げ、まずは人事担当部署で施行し、次は本部、全店へと対象範囲を広げ、そのたびにアンケートを実施して、制度や運用面の検討を進めていきました。顧客の信用情報を扱うため、システム整備をはじめ、情報管理やセキュリティ面を徹底しました。

02

ワークフローシステムで業務を電子化

以前は紙で処理をする書類も多く、自宅で業務を完結させることが難しい状況でした。現在はワークフローシステムを導入し、自宅でも稟議書や報告書の作成・承認・閲覧が可能になりました。



03

「Google Workspace」でシームレスに連携

従業員全員にスマホを貸与し、時間や場所を問わず連絡し合える体制を整えています。2023年9月には「Google Workspace」を導入。ファイルの共同編集、グループチャット、オンライン会議、カレンダー共有などがスムーズにできる環境を整備し、相互コミュニケーションがとりやすくなりました。

## 株式会社コームラ



### 多様な勤務形態で業務の生産性が向上し 社員のストレスが軽減

毎日同じ時間帯、同じ場所で道路が渋滞し、ルート変更をしても限界があります。業務に支障がない範囲で勤務時間を自由に設定できるようになれば、朝の渋滞は緩和されると考えています。このため当社では、繁忙期の生産活動の生産量向上や、営業活動におけるお客様に合わせた勤務体制の実現、さらに家庭の状況や育休から復職した社員のフォローを目的に、時差出勤と在宅勤務を導入しています。

時差出勤については、定時は8:45からですが、6:15から13:15までの間でスライドして出社できます。出社時間は6:15~15:00、10:15~19:00など約10パターンを設定。「今までできなかった子どもの保育園送迎ができるようになった」と喜ばれています。

在宅勤務は期間や日数の制限なく利用できます。ただし在宅勤務のみではコミュニケーションがとりにくい点や業務の段取りなども考慮し、週5日のうち3日のみ可能にしています。「育休から復職する場合は想定以上に体に負担がかかり、在宅勤務によって緩和された」と就労の継続につながっています。

岐阜県は車がないと移動が不便です。渋滞が特に発生する時間帯だけでも時差出勤ができるように、県をあげて企業に呼びかけていただけることを期待しています。

#### PROFILE

事業内容／製造業（印刷）  
所在地／岐阜県岐阜市  
従業員数／73名（男性43名・女性30名）  
※令和6年3月現在

オンデマンド印刷、Webサイト制作・システム開発、学会サポートサービスなど、時代が求める情報伝達ビジネス事業を展開している。社員一人ひとりがやりがいを持ち、多様な生き方ができるようにワークライフバランスの構築を重視。次世代育成支援、女性活躍支援、社員表彰をはじめ、毎週水曜日はノー残業デーを実施し、年次有給休暇取得奨励日の制定やアンバーサリー休暇を導入している。

#### 改革の成功ポイント

01

##### 勤怠管理をクラウドで管理

勤怠管理を紙のタイムカードで行っていたため、時差出勤を導入した当初は勤務時間のパターンに限られていました。クラウド管理に移管することで、業務や家庭の状況にできる限り合わせられる勤務時間に対応できるようになりました。在宅勤務についても、パソコン、スマホの両方での打刻を可能にしました。

02

##### パソコン、モニター等を貸与

会社のスマホをはじめ、在宅勤務用にノートパソコンや、印刷の前工程の作業に必要な大きなモニター、キーボードを貸与。リモートでも職場と同じ環境で作業ができるようになりました。



03

##### リモートでの打ち合わせ、会議を可能に

在宅勤務用のパソコンから会社のパソコンにネット接続できるようにしました。また、打ち合わせも電話に加え、ZOOMによるオンライン会議で対応できるようにし、効率的に業務が行えるように配慮しました。

## 株式会社シーテック 岐阜支社 美濃加茂支店



### サテライトオフィスと情報通信技術の活用で 現場作業時の通勤負担を軽減

岐阜県内の事業所間の移動は国道21号など幹線道路を利用するため、混雑時の通過時間の把握に苦慮しています。交通混雑は労働時間を左右し、働き方改革に逆行しかねない問題です。当社では2019年の「働き方改革関連法」を機に各種制度の検討、整備を始めました。特に2020年6月からは社長の声かけで「ワークスタイル変革の実践」に向けて注力。現在は時差出勤、在宅勤務、サテライトオフィス勤務、直行直帰、フレックスタイムを導入しています。

時差出勤についてはコアタイムを設けず、総労働時間の範囲内で従業員が始業時刻や労働時間を定めることができます。混雑時を避けて通勤できるようになり、効率的な労働が可能になりました。なお、従業員の働く時間がずれることによるコミュニケーションの懸念は、スマホのチャットアプリを活用することで活発に行えるようになりました。

在宅勤務は自宅や自宅に準ずる場所で、会社が認められた情報通信機器を利用して業務を行えます。さまざまな現場に赴くことのできる従業員は、所属事業場ではない当社事業場や、当社事業場以外のサテライトオフィスでのリモートワーク勤務の活用で移動の負担が軽減しました。

#### PROFILE

事業内容／電気工事、電気通信工事  
所在地／岐阜県美濃加茂市  
従業員数／28名（男性26名・女性2名）  
※令和6年3月現在

中部電力グループの総合技術企業として、愛知・静岡・三重・岐阜・長野など広域で電力設備や情報通信設備の新設・保守・点検、土木工事、再生可能エネルギー電源の開発を行う。従業員を財産と考え、生き生きとやりがいを持って働ける環境づくりを推進。ワークライフバランスカレンダーによる従業員の休暇予定の共有・フォロー、定時退社デーの設定、ダイバーシティなどに取り組んでいる。

#### 改革の成功ポイント

01

##### 社長の声かけで働き方改革を推進

社長により「働きやすい魅力ある会社をつくり、会社や個人の持続的な成長を目指す」ことを目的に、新しい働き方に適したルールの整備検討が掲げられました。これを受けて労務部門が中心になって各種制度や運用面を策定。在宅勤務などで必要となるシステム面は情報システム部門が担当し、円滑に整備が進みました。

02

##### 説明会で制度を全社員に周知

コロナ禍に諸制度が順次導入されたため、社員が理解・把握するのに苦労しました。その都度説明会を複数回開催し、全社員に周知することを徹底しました。



03

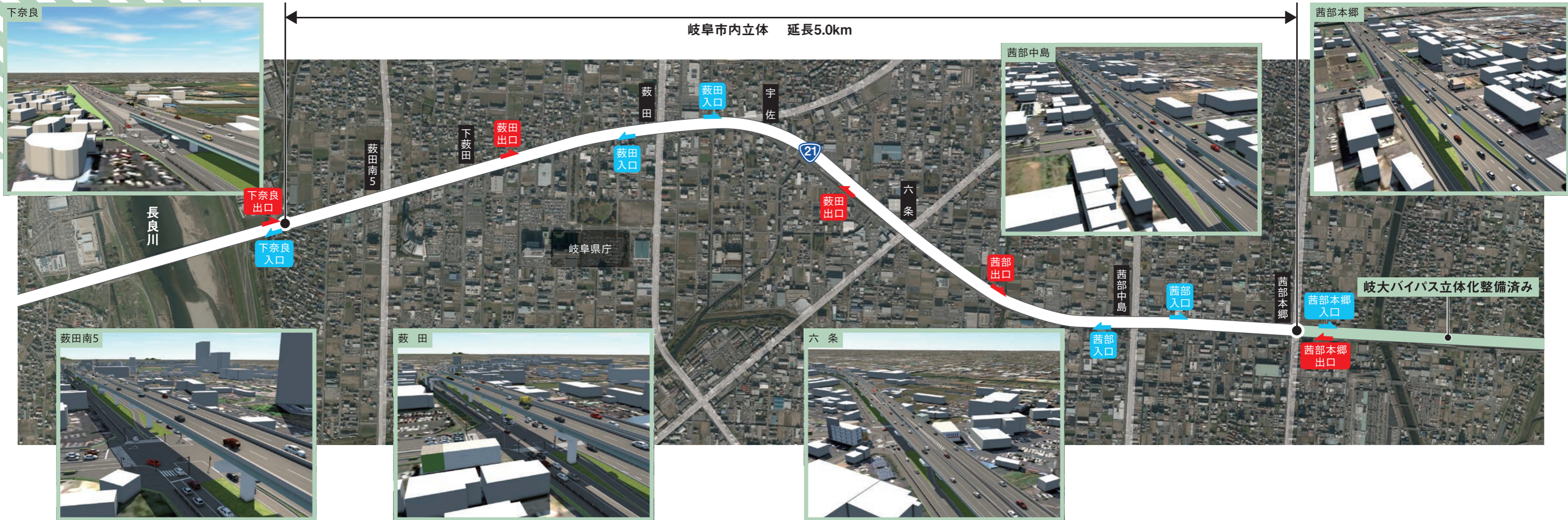
##### 各課にシステム担当者を指名してサポート

社員各自にパソコンとスマホを貸与。ITを活用したメール、チャット、ビデオ会議などのシステム面を整備しました。情報の取り扱いに関する理解や操作能力などのITリテラシーは個人によって差があります。そこで各課にシステム担当者を置いてフォローを行い、一人も取り残されないように努めています。

国道21号岐大バイパス

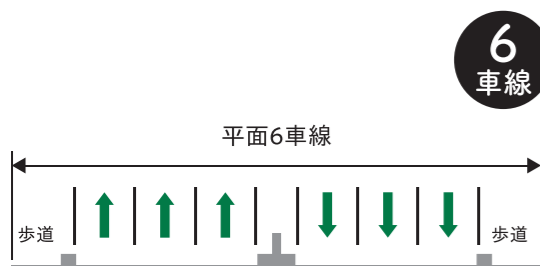
岐阜市内立体

国道21号岐大バイパスは、岐阜市から大垣市に至る延長23.9kmの幹線道路です。このうち岐阜市茜部本郷～下奈良の約5kmの立体化事業(岐阜市内立体)を推進しています。国道21号岐阜市内立体は岐大バイパスの一部として岐阜県西南部地域の東西交通を支え、広域的な道路ネットワークを形成する重要な道路となります。立体区間内では最大約6.3万台/日の交通量があり、主要渋滞区間や事故多発箇所が存在します。立体化の整備によって通行速度が50km/h以上に向上し、渋滞緩和とともに、事故要因の約8割を占める追突事故件数も約5割の減少が期待されます。これから立体化事業が本格的に始めると工事の影響によって渋滞がさらに悪化することが懸念されます。事業を円滑に推進し、日常的な渋滞を緩和するためにも、プロジェクトへのご理解とご協力をお願いします。



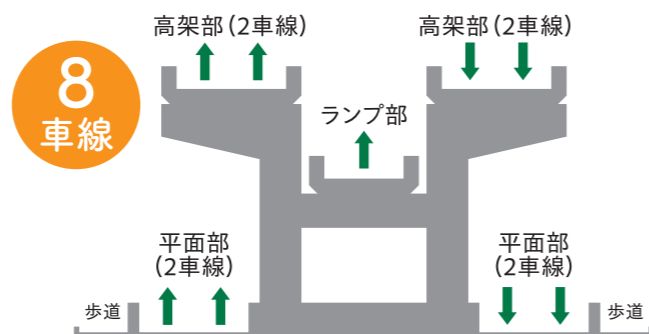
立体化の横断面

整備前



慢性的に渋滞が発生している岐阜市内の平面6車線区間について、高架4車線と平面4車線の複断面に整備します。交通混雑の緩和や交通安全の確保が期待されます。

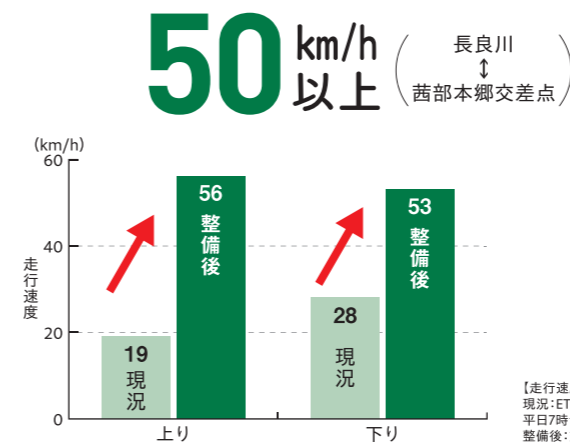
整備後



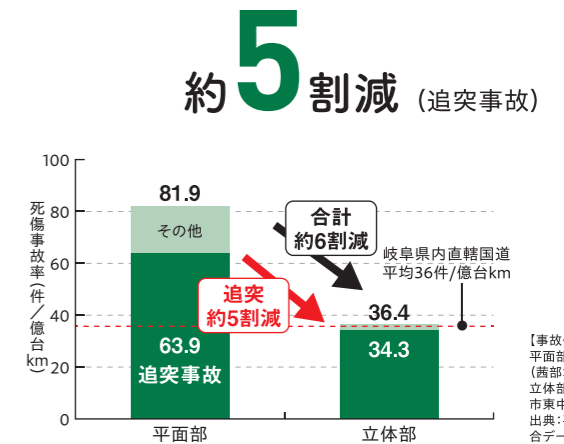
道路構造としては高架4車線+平面4車線でセンターランプ形式です。ランプ配置は主要交差点を中心に、オンランプは交差点直近に、オフランプは1つ程度離れた交差点に配置します。

期待される整備効果

走行速度向上



交通事故減少



【事故件数の算出区間】  
平面部:平面6車線暫定区間(茜部本郷～藪田南5)  
立体部:立体供用区間(岐阜市東中島～茜部本郷)  
出典:平成26～29年事故統合データ

# みちみちすいすいプロジェクト 賛同企業

## 随時募集中!

みちみちすいすいプロジェクトに賛同していただける企業や自治体を募集しています。このプロジェクトは渋滞緩和だけでなく、多様な働き方の実現やCO2排出量の削減など、SDGsの実現にも貢献します。岐阜県全体で暮らしのアップデートをめざしましょう。

### 登録条件

- 時差出勤や在宅勤務の制度整備、利用促進に賛同いただき、今後取り組む意欲のある団体  
※現時点の制度整備の有無にかかわらず登録可能です。
- 岐阜県内に本社または事務所を有する団体  
※支社・支店など系列事務所の登録も可能です。
- 業務上で岐阜県と関わりがある団体  
※岐阜県内に通勤者や取引先がある等。

ご登録後、フォローアップを目的としたアンケート等のご協力をお願いすることがあります。



企業・自治体のご登録はこちら

ご登録いただいた団体は、公式ウェブサイトで紹介させていただきます。



プロジェクトに対するみなさんの声をお聞かせください



【お願い】

通勤手段の変更に伴う費用や安全の確保につきましては、事業所または個人の責任でご対応をお願いいたします。

## 岐阜県ワーク・ライフ・バランス推進企業登録制度

岐阜県では、仕事と家庭の両立に取り組む企業を支援しています。登録すると以下のメリットがあります。

- 1 登録企業やその従業員が金利優遇措置を受けることができます。
- 2 「SDGs推進資金(県中小企業振興支援資金融資制度)」の利用対象になります。
- 3 県の建設工事入札参加資格審査において加点されます。
- 4 ジンサポ!ぎふで特典があります。
- 5 企業イメージ向上につながります。(県HPで登録企業の紹介、登録証発行・PR等)



詳しくは岐阜県HPへ



## 公式サイトや動画で最新情報を配信中!

ただいま、みちみちすいすいプロジェクトに賛同していただける団体、PRに協力していただける方を募集中です。企業でも個人でもOK。詳しくはHPをご覧ください。



最新情報はここからチェック

岐阜県TDM



\ SNSもぜひフォローをお願いします。/

- Instagram @gifukokudou
- Facebook 岐阜国道
- X (旧Twitter) @mlit\_gifukoku
- YouTube ぎふこくチャンネル

## 岐阜新聞一面にプロジェクトが紹介されました。

紙面では、プロジェクト発足の経緯や目的、社会実験の結果、今後の動きなどについて紹介。とくに県全体での取り組みであることに注目した内容となっています。



岐阜新聞 令和5年11月12日付掲載(岐阜新聞社提供)

## 県内各地から期待の声が続々と届いています!

現在、自宅から学校まで自転車通学をしている身として、もっとこのプロジェクトが多くの人に広まるよう応援していきたいです。  
10代男性 学生



渋滞緩和といえば道路工事が一般的ですが、それだけに頼らないオール岐阜での取り組みに共感しました。  
20代男性 会社員



自分自身、家族はもちろん、日本の将来を考えると、公共交通機関の活用が重要になってくるのではないかと考えています。  
50代女性 公務員



渋滞は人格を変えてしまうこともありえます。穏やかに毎日暮らせる県にしてくださいね。  
50代女性 会社員



自動運転車が走るようになってスムーズな移動ができる施策はこれからは必要ですので、いろいろな形で関与していきたいです。  
60代男性 会社員

